

まちづくり通信

- 山鹿協同隊会報 - No.4

号数 No.4 発行日:1999.2.2
編集発行 山鹿協同隊
(中心市街地活性化基本計画
策定ワーキンググループ)
連絡先 山鹿市役所商工観光課
TEL 0968-43-1111(内線161)
FAX 0968-43-8795
E-mail:yamaga@yamaga.org

ワークショップってナニ?

現在、ワーキンググループの会議では、ワークショップ方式が取られています。再確認の意味を込めて、ワークショップの解説をしてみたいと思います。

ワークショップとは、WORK(作業する)SHOP(場所) = さまざまな共同作業を通して計画づくりを進めること、あるいは、その集まり、と捉えることができます。日本語に直すことが難しくそのまま用語として利用されています。

ワーキンググループでは、この手法をつかって、

現在までの作業を行なってきました。

そもそも、このような手法が必要とされるようになったのは、従来の行政事業では、確かに住民が意見を述べる場はありましたが、「既に行政内で確定した事業案を、一方的に市民に説明し、理解と協力を求める」ということになりがちでした。この意識は、山鹿の市民の皆さんにも有るのではないのでしょうか。この反省から、住民の意見を十分に汲み取ってより良い事業を行ない、計画を決める段階からもっと深く住民が参加すること、さらには、新しい事業を行なう準備段階から住民が参加できるようにするべきだ、という考え方が重要視すべきと考えるようになりました。

ただし、できるだけ、多数の市民が参加し、意見を述べ、取りまとめていくことができるよ



うな手法が必要になります。こうした手法の一つとして、注目されているのが、ワークショップです。

現在、山鹿で行われているワークショップでは、KJ法的手法が活用されています。この方式は、異質のデータからいかにして意味のある結合を発見できるかという、いわゆる発想法の体系的技術とし注目をあつめているもので、とくに、複数の人たちの「衆知をあつめる」法として評価されているものです。

もちろん、この方法がベストと言うわけではありませんが、みんなの意見を出し合うにはもってこいの方法といえます。ワークショップも実際に参加してみると結構楽しめるものです。山鹿協同隊以外の方も是非、一緒に参加してみませんか。



まちづくりトークと映画 「故郷 - ふるさと - 」試写会

山鹿で3月16日(火)先行試写会が決定した

「故郷 - ふるさと - 」の

ご紹介です。

当日は、

監督 向井寛 主演女優 淡島千景
助演女優 三井ゆり(予定)を迎え

のまちづくりについての座談会もおこなわれます。

この映画は、山鹿でもロケが行われ、豊前街道などが、スクリーンに映し出されます。皆さん、ご期待ください。

映画 「故郷 - ふるさと - 」

監督は前作「GOING WEST西へ...」でも高齢者を主人公に据えた向井寛。76歳のおばあちゃんランナーを演じるのは前作と同じ時子役の淡島千景。にっぽん縦断というすこぶるハードなランナー役を見事にこなして見せ、監督やスタッフを驚かせた。

共演陣も、津島恵子（オリンピック候補選手時代の友・明蘭）、大滝秀治（時子の義兄・菊馬の戦友）、清川虹子（マラソン仲間・タミ）、尾美としのり（時子を追うTVディレクター・本田）、今井雅之（新聞記者・渡嘉敷）そして、三井ゆり（孫娘・恵）と個性派揃い。奥村公延、中尾彬、穴戸錠らも熟達の演技で場面を引き締めている。

自分のなかの秘めた「故郷」へ、そして21世紀への熱い思いを胸に走りつづける南風原時子・76歳。「100万婆力」の美しさと輝きを心温まるシーンと練達の映像美で描きながら、向井寛監督の「職人芸の力」はますます快調である。

* 4月東宝系で封切り

それと「息子に継がそう」などと考えて商売をしないこと。そう考えた途端に、商売がつまらなくなる。自分のやってきた商売を、誰かやりたい人に高く売る位のつもりで取り組んだ方がいい。

自分の売っている品物に深く関わり、1対100ではなく1対1の関係をお客さんとの間につくっていく。「今日、誕生日だよ」と声をかけられたら、お客さんはそれだけでうれしいわけで、ついその店で買い物をするという関係が生まれます。そういう関係が、ますます大切になってくると思いますよ。

私の小説『高円寺純情商店街』は、昔の思い出というつもりで書いたものではありません。1対1の関係の厚さ。商店街以外の場所で店主と出金って、声をかけ合える関係の素晴らしさを描いたのです。私は死ぬまで、そういう暮らしを続けたいと思っています。

日本経済新聞より

商店街は、まちの窓。

ねじめ正一（作家・詩人）

私は地方へ行くと、必ず商店街や市場を歩きます。すると、そのまちに住んでいる人たちが見えてくる。商店街はまちの窓口なんです。商店街に大切なのは地域性。ここにしかない得意なものがあるというのが大切ですよね。

お知らせ

2月19日（金）19:00 J A 会館

合同小隊会議

2月26日（金）19:00 商工会議所

山鹿協同隊

「山鹿協同隊」とは

山鹿を発火点として、西南の役に参加した熊本協同隊は、自由民権運動の先駆けであり、その志にならい、山鹿の街はみずから作り上げるという思いを込めて「協同隊」を冠し、「山鹿協同隊」としました。

ワークショップの風景

